

## 梅雨前線に伴う大雨及び平成 29 年台風災害(平成 29 年九州北部豪雨災害)に関する緊急ミーティングを開催しました(2017/7/10)

テーマ：緊急調査

6月30日(金)からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風3号によって、福岡県と大分県を中心に甚大な被害が発生しています。当研究所では、この大雨災害について、緊急調査ワーキンググループを中心に、情報収集を始めた調査・後方支援に取り組んでいます。河川はん濫や土砂災害が発生した翌日7月5日(木)の朝に、初回となる緊急ミーティングを開催し、研究所の対応方針について議論しました。7月10日(月)の緊急ミーティングでは、ここまで集まっている情報、活動、調査経過について共有が行われました。森口周二准教授(地域・都市再生研究部門)から今般の降雨の状況・特徴について、佐藤翔輔助教(情報管理・社会連携部門)からは今回の災害におけるツイッターの現状・問題について、田所諭教授(地域・都市再生研究部門)からはImPACTタフ・ロボティクス・チャレンジ・プロジェクトにおける飛行ロボットのグループの東峰村での現地活動について、佐々木宏之助教(災害医学研究部門)から現地のDMAT及びDPATの活動経過について、情報共有・報告がなされました。

今後も当研究所では事態推移に注視するとともに、今後の対応方針をひきつづき検討していきます。



森口周二准教授



佐藤翔輔助教



田所諭教授



佐々木宏之助教

文責：今村文彦(災害リスク研究部門)、佐藤翔輔(情報管理・社会連携部門)